

CLUB HARLEY

Ride the HARLEY-DAVIDSON.

珠玉のカスタム集結
40ページ増量特大号!!



毎月14日発売
クラブ・ハーレー[®]
定価 980yen

2013年11月号(毎月14日発売)
10月12日発売
第13巻第11号(通巻149号)

11 November
Vol.160

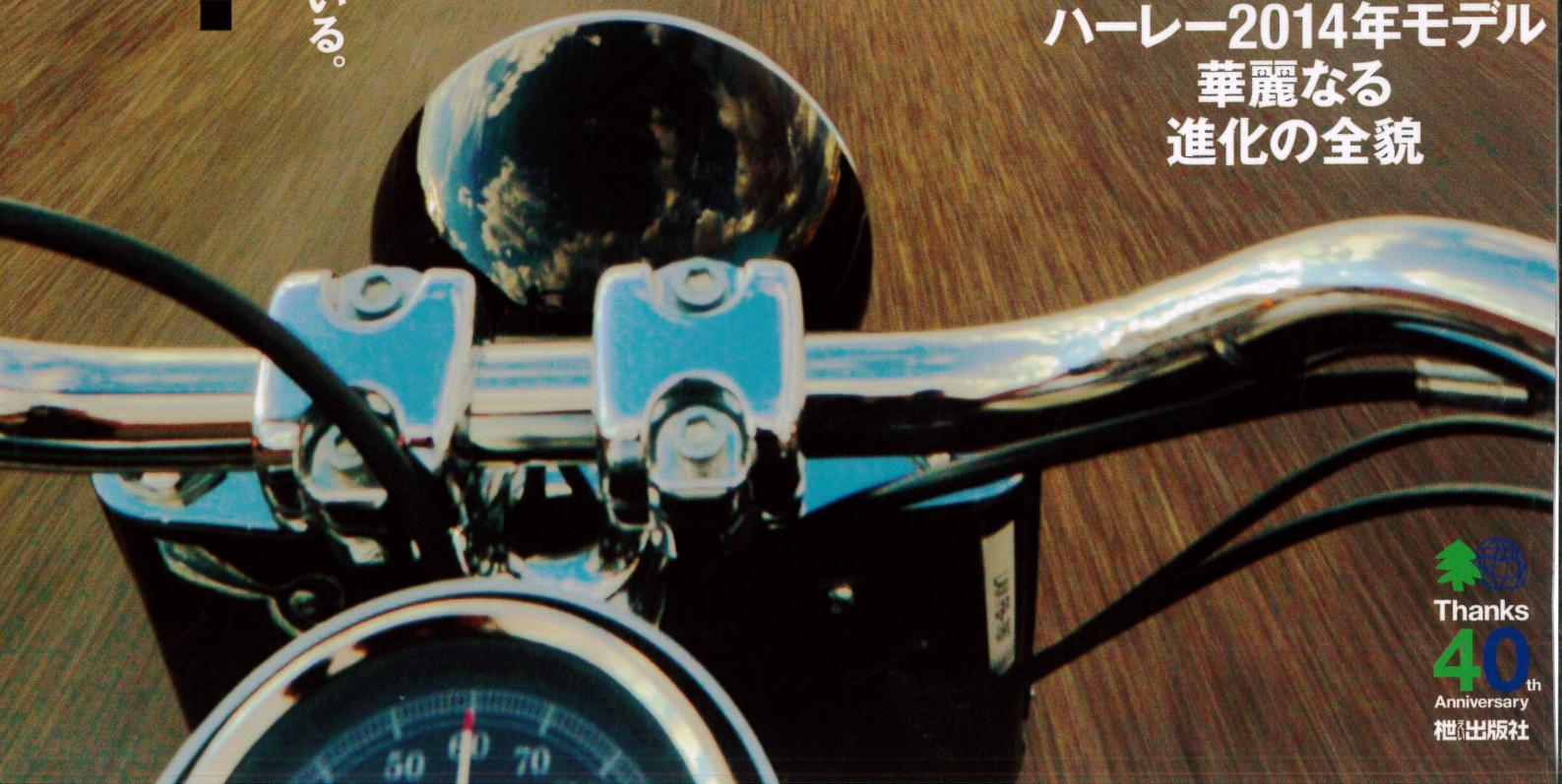
とじ込み付録
稲妻フェスティバル
2013
公式ガイドブック
付き!!



アメリカ!
走るぜ、

まだ見ぬ道が呼んでいる。

【第2特集】
ハーレー2014年モデル
華麗なる
進化の全貌



Thanks
40th
Anniversary
出版社

BAD LAND DIABLO

ビルダーズピックを受賞したのはバッドランド「DIABLO」。エンジンはS&Sのパワーユニットをインストールし124ciに。オイルポンプ、カムを強化し、ビッグモーターのボテンシャルを引き出している。外装各部をカーボンやメタルで製作し、エンジン、外装ともに徹底的に作り込まれたハイエンドなマシンである



124ciのビッグエンジンに加え、ヘッドライトやエンジン回りの各パーツもカーボンで製作されている



今年のアワード受賞車両はこの2台!!

Custom Fan Award

TRIJYA BIG BANG

来場者からの投票が最も多かったのはこちらの車両。「02年式FLSTFのストックエンジンにスーパーチャージャーを搭載。キャブ車だが、ポンプを内蔵させて安定した混合気を送り込めるように工夫し、パワフルな走りが楽しめるようになってい。細部まで作り込まれた秀逸なボディワークを堪能してもらいたい一台」

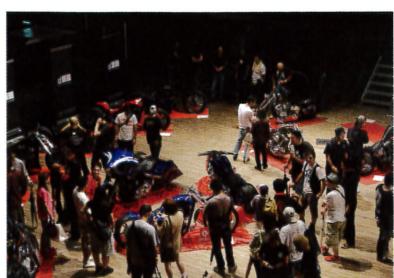


ブルーを貴重とした外装のアクセントとして、タンクとサイドカバーにはリアルフレームスのペイントが。曲線を描くリアフェンダーに沿うように取り付けられたウインカーは見るものに驚かせた



昨年9月、「昭和の森」の倉庫で幕を開けたハーレー・オンリーのイベント、クラブハーレーガレージ、今年は9月15日スタジオコーストと、その向かいに位置するスナップオン本社で行われた。カスタム車両が展示されたスタジオコーストには、誌面に登場した車両はもちろん、このイベントが初お披露目となる車両も展示され、カスタムハーレーファンを満足させた。スナップオン側の会

最先端のカスタム車両が来場者を釘付けにした。



今回、カスタム車両を展示したスタジオコーストは普段クラブイベントにもよく使用されている会場で、他のカスタムショーにはない独特な空間を演出した

場では本誌でお馴染みのブランドやパーツメーカーなどが集まり、ファンにはたまらない1日だけの贅沢なショッピングスポットと化した。今回のカスタム車両展示では、出展者が他のバイクを採点し、その合計点から選出されるビルダーズピックと、来場者が最も気に入ったバイクに投票し、その合計数で選出されるカスタムファンアワードのふたつのアワードが用意され、受賞者は上記の結果となつた。ハーレー乗りのトレンドが詰まつたこのイベントから最新ハーレー事情を読み取つてほしい。

最新カスタムハーレーが スタジオコーストに大集結。



ハーレーオンリーのカスタムショー、今回は高年式の車両が多く、細部まで作りこまれたチョッパーが目を引いた。
ここでカスタムのトレンドを学ぶべし！

KEN'S FACTORY

TEL052-354-6122 www.kens-factory.com



Back in Black

2000cc超のビッグエンジンを搭載しながらも、タンデムできるようリアのフェンダーストラットを強化。ソフトайл式のスイングアームを採用するなど、ディリーユースできるカスタム

SELECTED CUSTOM MOTORCYCLES

TEL045-252-2933 www.selected.co.jp



Qlazer

チョッパー・ガイズのFXRフレームに124キュービックインチのツインカムを搭載。モノサスに加え、ハイエンドパーツで固めたスタイリングと走りを両立させた新時代チョッパー

SELECTED CUSTOM MOTORCYCLES



ROYAL RILLS

'08年式FLSTCがベース。105周年記念カラーの外装を潔くストレッチした、セレクテッドを代表するコンプリートカスタム、ロイヤルシリーズの最新作。完成したばかりの作品初公開！

ROYAL WOLDS

クロムメッキ加工された面に、ペイントを施しフィニッシュした外装を始め、チョッパーらしいシングルクレイドルフレームやダイヤモンドカットされたエンジンなど、隙のない作り込み

ROYAL KNIGHTS

オーナーの紳士的な人柄をイメージしてFLSTFをベースに製乗やすさとデザインを両立させた1台。セレクテッドのコンプリートである、“ロイヤル”の称号を冠した一台

BULL ORIGINAL

TEL 045-431-3456
www.mc-bull.com/



2005 XL1200R

オリジナルのポートテールに、16インチのリアサスやブロックタイヤ、バー・ハンドルに加え、RSDのパーツをバランスよくチョイス。ダートスタイルに現代的なテイストをミックス



2007 XL1200R

ポートテールを現代的にリデザインしたオリジナルカウルが目を引く。リアサスをローダウンした車両にもボルトオンで装着できるよう、タイヤとのクリアランスも十分に考慮されている

MAIDS MOTORCYCLES

TEL03-5305-8380
www.maids-mc.com



1979 FX

街で快適に乗れることを前提にエンジンはあえてハイパフォーマンスなものではなく、ショベルらしい味わいのある走りを残しながら、5速ミッションを組み合わせた玄人好みなカスタム

TRIYJA

TEL072-662-3105
www.triyja.com/



WATATSUMI(海神)

大径26インチホイールのフロントながらも、快適に走行できるように車体バランスに徹底的にこだわった。サーフィン好きなオーナーのイメージに合わせボディはブルーを基調とした

Gaudi

建築家アントニオ・ガウディが好きなオーナーの希望によりサグラダ・ファミリアをイメージして製作。金属工芸の技術を駆使してカッティングを施したタンクやフェンダーが独創的

HOT-DOCK CUSTOM CYCLES

TEL03-3926-0220
www.hot-dock.co.jp



WAR FIGHTER

アメリカ海軍で採用されていた戦闘機「F4ファントム」をイメージして製作された。ウェザリング加工されたリベットがダメーで打ち込まれるなど、クラフト感あふれる外装が秀逸

なんと大阪から
自走で参加!!



垣内賢一さん
2002 FXSTS

トライジャでフルカスタムしたスプリンガーフェイルに乗る垣内さん。イーブルアクトのデニムとVANSのスニーカーと、軽快なファッションでライディングするのが好きなんだそう



フジシロさん
2012 XL1200X

ツーリング先の北海道から直行してきたというフジシロさん。タンクのエイジングペインストラップしたカラーリングがお気に入りだそう



野田和義さん
2012 FXS

RSD製マフラーが気に入っているという野田さん。「ハーレーに乗りはじめて6ヵ月。まだわからないことばかりです。(笑)」



吉田雄二さん
2011 XL1200L

WWC製オリジナルカラーのXL1200Lを所有。実はパパ活にのる吉田さんとご夫婦で、いつも2人で一緒に走っている



小林裕明さん
雨の中を2010年式XL1200Lで来場。

shcottのワークシャツに児島ジーンズのダブルニーパンツ、LLビーンのブーツをセレクトした



クラブハーレーガレージ
に集まつた

HARLEY LOVER SNAP!!



すーさん
2001 XL1200S

KERKER製マフラーにオーリンズ製サスペンションを装備したスポーツ仕様のスポーツスター。ライディングにはアイアンハートのデニムを愛用が多いとか



午前中は悪天候だったにも関わらず、自走で来場してくれた気合の入ったライダーや、

ファッショナブルなお客さんを会場でピックアップ。

ショーバイクとはまた別物の、リアルなストリートスタイルをチェックせよ!!



新谷淳司さん
2013 FLSTN

ソフテイルデラックスの日本上陸100周年記念モデルに乗る新谷さん。貴重な限定モデルは、ライトのバイザー以外純正をキープ



伊藤武志さん
SNOIDのボーリングシャツが似合う伊藤さん。雨で愛車では来場しなかったが、セレクションでカスタムした'06年式FLHRを所有